

1 日 時 令和6年5月30日（木）13:55～14:40

2 場 所 田之筋小学校体育館

3 単元名 表現運動 「見つけよう宝物！～過去の田之筋にタイムスリップ～」

4 単元計画

(1) 評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ア 表現の行い方について、発表したり書いたりしている。 イ 田之筋地区の自然の特徴や感じを捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。	ア 表現の動きのポイントを知り、楽しく踊るための自分に合った課題を見付けている。 イ 題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫している。 ウ 表したい感じや様子にふさわしい動きで踊れていたかどうかを見合い、考えたことを友達に伝えている。	ア 表現に進んで取り組もうとしている。 イ 誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ウ 友達の動きや考えを認めようとしている。 エ 場の安全に気を付けて踊っている。

(2) 単元における指導と評価の計画

時	学習の流れ	主な評価		
		知・技	思・判・表	態
1	表現遊びをして、気付いたことや感じたことを伝え合おう。 簡単な表現ゲームなどで今後の活動に期待感と見通しをもつ。		ア (発表・記述)	ア (様態)
2	表現運動4つのめあてを意識して、表現遊びをもっと楽しもう。 めあてを意識して表現遊びを行う。	ア (記述)		イ (様態)
3	田之筋の自慢の豊かな自然を、表現で伝えよう。 ペアで協力しながら、いろいろな動きを考える。		イ (様態)	
4	田之筋の自然を、思い付きの動きや踊りで表現しよう。 カードに書かれた内容を、ペアで即興的に表現する。			ウ (様態・記述)
5	田之筋のいいところを伝えるための作品づくりにチャレンジしよう。 ペアで協力しながら、タイムスリップの動きを考える。		イ (様態)	ウ (様態・記述)
6	表現したい感じや様子を、工夫して表現しよう。 ペアで、田之筋のいいところをひと流れの踊りで表現する。	イ (様態)	ウ (様態)	
7 本時	田之筋の自然の素晴らしさが伝わるように、踊りを工夫しよう。 ペアで話し合いながら、よりよい踊りを作り上げる。		ウ (様態)	
8	踊りの発表会をしよう。(予定) 仲間の発表を見て、その表現の良さに気付き伝え合う。	イ (様態)		エ (様態)
9	出来上がった作品を思い出に残そう。(予定) 踊りを映像に撮り、学習のまとめを行う。		ウ (様態)	

5 単元の目標

- 表現の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、題材から主な特徴や感じを捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ることができるようにする。（知識及び技能）
- 自己の能力に適した課題を見付け、題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- 表現に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

6 指導観

(1) 児童について

本校中学年の児童（3年男子 名女子 名、4年男子 名女子 名、計35名）は、体を動かして遊ぶことが好きな子どもが多く、日々の体育科の授業にも意欲的に取り組んでいる。異学年との交流も盛んで、昼休みには様々な学年の子どもが仲良く遊んでいる。考えるより先に体が動くような、活発な姿がよく見られる。一方で、中学年の子どもたちは、他者からの目を気にしすぎる傾向が強く、間違えることへの不安から、自分の意見を伝えることができないことが多い。失敗を気にせず、積極的にチャレンジする勇氣を持つことや、いろいろな考えを受け入れ、ありのままの自分たちを出せるようにすることが今後の課題である。

表現運動に関する事前アンケートの結果からは、踊ることについて肯定的な回答が多く見られた。一方で、他者から見られることを恥ずかしく感じる子どもが多いことが分かった。（資料1）また、自由記述項目の回答には「ダンスは得意」「リズムに合わせて体を動かすのが好き」「動くことが苦手」「踊りたくない」という正反対の意見もあった。このことから、子どもたちの中で「表現運動＝リズムダンス」の意識が強く、難しい動きを踊ったり、人に合わせながら踊ったりしなければならないという先入観を持っていることが分かった。自由に表現をすることの楽しさや嬉しさを感じ取らせることで、表現運動への抵抗感を減らす必要がある。

※1：そう思う 2：どちらかと言えばそう思う 3：どちらかと言えばそう思わない 4：そう思わない

質 問 項 目	※1	2	3	4
①音楽に合わせて踊るのは好きですか。	45.2%	32.3%	12.9%	9.7%
	77.4%		22.6%	
②踊りを見られるのは好きですか。	22.6%	19.4%	32.3%	25.8%
	32.0%		58.1%	
③お題から想像して、すぐに動きで表すことは好きですか。 （ジェスチャーゲームのようなこと）	32.3%	35.5%	22.6%	9.7%
	67.8%		32.3%	
④友達といっしょに踊りを考えるのは好きですか。	29.0%	41.9%	22.6%	6.5%
	70.9%		29.1%	

（資料1）表現運動に関する事前アンケートの結果

(2) 教材について

中学年の表現運動は、身近な生活などから題材を選び、想像の世界に没入しながらなりきって踊ったり、題材の特徴を捉えて表したい感じを表現したりすることが楽しい運動である。また、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る中で、自由に発想することや様々な動きの工夫を考えることの楽しさや喜びを味わうことができる運動である。児童のふるさとである田之筋地区には、他の地域にはない特別な良さがある。愛着ある地域の題材を取り扱うことで、田之筋地区の良さをもっと発見したいと思う好奇心を高め、子どもたちがより感情を伴った表現がでいると考えた。ふるさとのよさを誰かに知らせたい、伝えたい、表現してみたいという素直な気持ちを持たせ、表現運動に向かう意欲につなげていく。

(3) 指導について

本時では、まず「西予市パッケージ」を活用して、子どもの実態に適した表現遊びを行うことで、子どもの体と心をほぐす。即興的な動きが練習できるよう「動物おにごっこ」などの遊びが考えられる。子どもの様々な動きを認める声掛けを教師が行うことで、子どもの自由な発想が出やすい雰囲気を作りたい。次に、子どもたちといっしょに学習課題を立てる。田之筋の良さを伝えるためには、伝えたいという願いや思いを持つことが大切だということを確認し、その思いを伝えるための動きの工夫を考えさせていく。ペアで活動の目標を立てる活動では、前時の踊りの経験を想起させたり、4つのめあてを意識させたりすることで、ペアの実態に合った具体的な目標を立てさせたい。曲に合わせて踊り、気付いたことを話し合いながら動きの工夫を考える活動では、体育館の四隅にタブレットPCを配置して、自分達の踊りを動画で撮影する。客観的に踊りを見て課題を見付けることで、表現力の向上に向けた活発な話し合いができるようにしたい。反省を基に踊りを工夫する場面では、出来上がった即興的な踊りが、これまでの表現運動への取組の成果であることを子どもに実感させ、達成感や成就感、今後の活動への期待感につなげたい。また、単元の終末にはどのような活動が考えられるか子どもに聞き、可能な範囲で実践したい。

7 本時の目標と展開

(1) 本時の目標（7/9時間）

- 表したい感じや様子にふさわしい動きで踊っていたかどうかを見合い、考えたことを友達に伝えている。（思考・判断・表現）

(2) 準備物

西予市パッケージ、表現運動4つのめあて(掲示物)、宇和町かるた、ウェビングマップ
ワークシート、音源CD、タブレットPC

(3) 展開

学習活動	時間	○主な発問 ・予想される児童の反応	○指導上の支援 ◎評価
1 「西予市パッケージ」で遊ぶ。	7	○ 表現遊びを選んでやってみよう。 ・ 前の時間は、即興的な動きができなかったから「動物おにごっこ」で練習したい。	○ 4つのめあてを意識しながら表現遊びを行い、表現力の向上を図る。
2 学習課題を立てる。	3	○ 気持ちが伝わるように踊り方を工夫しよう。 ・ まずは4つのめあてを意識しよう。 ・ 自然の美しさに感動する気持ちを伝えたい。	○ 気持ちを伝えるための動きの工夫を意識させることで、意味のある動きで踊らせることができるようにする。
田之筋の良いところが伝わるように、踊りを工夫しよう。			
3 ペアで活動の目標を立てる。	5	○ ペアで話し合って、動きの目標を立てよう。 ・ 広く場を使って、大きく動こうよ。 ・ 二人が同じ気持ちになって踊ろうよ。	○ ワークシートを確認して前時の振り返りを想起させることで、具体的な目標を決めさせる。
4 曲に合わせて踊り、気付いたことを話し合いながら、動きの工夫を考える。	5 8	○ 曲に合わせて踊って、思いを伝えよう。 ・ ペアで意思を合わせて踊るぞ。 ・ 楽しく自由に踊りたいな。 ○ 良かった動きや、もう少し頑張りたいと思った動きを、ペアで話し合おう ・ 指先まで意識して動くといいね。 ・ もう少し表情を柔らかくしたいね。 ・ 今の動きは良かったから、次も同じ動きでやってみよう。	○ 体育館の四隅にタブレットPCを設置して踊りを動画撮影し、話合いの材料にすることで、活動の活性化を図る。 ○ 4つのめあての観点に沿って話し合わせることで、課題の焦点化を図る。
5 反省を生かしながら踊る。	5	○ 話し合いで得られた反省をもとに、もう一度踊ってみよう。 ・ さっきより、余裕を持って踊れたよ。 ・ タイミングが合って気持ちよかった。 ・ ペアで仲が深まった気がする。	◎ 表したい感じや様子にふさわしい動きで踊っていたかどうかを見合い、考えたことを友達に伝えている。（観察）
6 学習のまとめ	5 7	○ 今日の学習の感想を伝え合おう。 ・ 前回よりのびのびと踊れて楽しかった。 ・ 自分の動きの良さが分かり嬉しかった。 ○ 気付いたことや感じたことを、前回のウェビングマップに書き加えよう。 ・ 表現力の高まりを感じるよ。 ・ 出来上がった作品を見てもらいたい。	○ 踊りを通して得られた充実感や達成感に触れ、表現運動の良さを共感できるようにする。 ○ 児童の表現運動への意欲の高まりを生かし、今後の活動についての意見を出し合い、次の活動への期待感を持たせる。

(4) 研究の視点

- 「西予市パッケージ」の表現遊びは、本時の学習効果を高めるために効果的であったか。
- 表現の4つのめあて、ワークシート、タブレットPCを用いた動画撮影は、子どもたちの話し合い活動を活発にするために効果的であったか。